

令和5年度 環境エネルギー研究会 講演会 “定置型2次電池の開発動向と社会実装へ向けて”

(公財)長野県産業振興機構 諏訪センター 環境エネルギー研究会 では、“定置型2次電池の開発動向と社会実装へ向けて”と題してハイブリッド形式で講演会を開催します。

エネルギー安全保障やカーボンニュートラルの実現に向けて、日本は再生可能エネルギー導入を進めておりますが、既に太陽光発電電力の買取価格が条件によっては0円近くなったり、出力抑制も発生する等、今後の再生可能エネルギーの導入拡大において、エネルギーの平滑化は緊急の課題とも言えます。

本講演会では、再生可能エネルギーの平滑化だけでなく地域の緊急補助電源としても活用可能な、高コストパフォーマンス大容量2次電池という視点で、「定置型2次電池の開発動向から、今後の社会実装に向けて」と題して、日本での先端的な取り組みをされている4名の方をお招きし、参加者の皆様に理解を深めていただくとともに、長野・諏訪地域への実装に向けた取り組みへのきっかけになればと考えております。

お誘い合わせでご参加いただければ幸いです。

◆ 日時	令和5年12月21日(木) 13:00~17:30(含 名刺交換会) ZOOM入室開始 12:55~
◆ 場所	会場: テクノプラザおかや 及び ZOOMによるオンライン配信
◆ 参加費	無料
◆ 募集対象	定置型2次電池に関心のある長野県内外の企業・学校・機関の皆様
◆ 主催	(公財)長野県産業振興機構 諏訪センター

No.	時間	演題 (ご講演者及びご講演内容については次頁に紹介してあります)
1	13:00~13:10	開会の挨拶:(公財)長野県産業振興機構 諏訪センター長 垣内 健児
2	13:10~14:00	講演1:「定置型2次電池の技術動向と水系蓄電池の可能性」 公立諏訪東京理科大学 工学部 機械電気工学科 准教授 小川 賢 様
3	14:10~15:00	講演2:「再生可能エネルギーの安定化に役立つ非常に大きな蓄電容量を持つNAS電池の特徴、事業状況等、また、開発中の亜鉛二次電池との比較、将来展望」 日本ガイシ株式会社 NV推進本部 ビジネスクリエーション バッテリーソリューション 主任 坂東 克起 様
4	15:10~15:50	講演3:「日本触媒のコア技術であるセパレータ、及び亜鉛電池に関する技術開発」 株式会社 日本触媒 コーポレート研究本部・研究センター アシスタントマネージャー 原田 弘子 様
5	16:00~16:50	講演4:「フロー型亜鉛空気電池の開発と展望」 シャープ株式会社 研究開発本部 グリーンイノベーション&デバイス研究所 第二研究室 課長 吉田 章人 様
6	17:00~17:30	閉会:(公財)長野県産業振興機構諏訪センター 延谷 力 名刺交換会(飲食無し)

※各講演の間の10分間で質疑及び休憩。プログラムは変更になる場合があります。その際にはご了承下さい。

■講演会申込

以下のURLまたは右QRコードからお申し込みください。(締め切り12月14日(木))

◎申込URL <https://www.nice-o.or.jp/formpage/r5s-ee3/>

上記、URLからのお申し込みが困難な場合は、

下記“お問い合わせ先”にてメールにて連絡先をご連絡下さい。申し込み票をお送りします。

リモート参加を申し込まれた方へは12月18日中に参加URLをメールにてお送りします。

12月19日になっても案内が届いていない場合は下記までご連絡ください。

会場参加の方は、特別の連絡がない限りは、当日開始10分前までに会場にお越し下さい。

■お問い合わせ先

公益財団法人 長野県産業振興機構 諏訪センター (担当:延谷)

〒392-8601 諏訪市上川 1-1644-10 (諏訪合同庁舎内)

E-mail: nobutani-tsutomu@nice-o.or.jp

Tel: 0266-53-6000 (内線 2665)



■ご講演内容紹介

◎講演1. 「定置型2次電池の技術動向と水系蓄電池の可能性」

拡大する蓄電池市場の中で古い蓄電池と揶揄されがちな水系蓄電池について、現在の市場動向や使い続けられる利点について触れ、小型・軽量がそれほど求められない定置用途に対して古典的な水系電池が活用できる可能性についてご講演していただきます。

ご講演者紹介： 公立諏訪東京理科大学 工学部 機械電気工学科
准教授 小川 賢 様



略歴：出身地 栃木県

2007年：東北大学大学院工学研究科電気通信工学科修了 博士(工学)

2007年～2012年：セイコーエプソン株式会社

2012年～2022年：株式会社日本触媒

2022年～現在：公立諏訪東京理科大学 機械電気工学科 准教授

◎講演2. 「再生可能エネルギーの安定化に役立つ非常に大きな蓄電容量を持つNAS電池の特徴、事業状況等、また、開発中の亜鉛二次電池との比較、将来展望」

NAS電池を活用した事業状況や、開発中の亜鉛二次電池との比較や住み分けについて下記内容でご講演していただきます。

・NAS電池の紹介 ・NAS電池を活用した事業紹介 ・NAS電池と亜鉛二次電池の比較と住み分け

ご講演者紹介： 日本ガイシ株式会社 NV推進本部 ビジネスクリエーション バッテリーソリューション
主任 坂東 克起 様



略歴：出身地：奈良県

2017年：北海道大学農学部森林科学科卒業

2017年：鉄鋼専門商社

2018年～2022年：水処理、石油・石化プロセス、紙パルプ関連薬剤販売会社

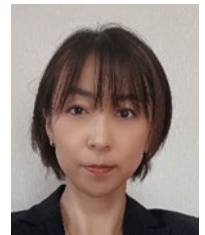
2022年～現在：日本ガイシ株式会社

◎講演2. 「日本触媒のコア技術であるセパレータ、及び亜鉛電池に関する技術開発」

セパレータ技術・亜鉛電池の開発を通じた日本触媒様の取り組みについて下記内容でご講演していただきます。

・なぜ亜鉛蓄電池なのか？ ・二次電池化応用への課題 ・亜鉛蓄電池向けセパレータ技術
・様々な亜鉛蓄電池の特徴と課題 ・日本触媒の取り組みについて

ご講演者紹介： 株式会社 日本触媒 コーポレート研究本部・研究センター
アシスタントマネージャー 原田 弘子 様



略歴：出身地：奈良県

1994年：奈良工業高等専門学校 化学工学科卒業

1994年～現在：株式会社 日本触媒

◎講演4. 「フロー型亜鉛空気電池の開発と展望」

大容量かつ高い安全性を有しベースメタルである亜鉛を用いた次世代蓄電技術であるフロー型亜鉛空気電池の開発状況および展望について下記内容でご講演していただきます。

・開発の背景 ・亜鉛空気電池について ・フロー型亜鉛空気電池の開発状況 ・今後の展望

ご講演者紹介： シャープ株式会社 研究開発本部 グリーンイノベーション&デバイス研究所 第二研究室
課長 吉田 章人 様



略歴：

2000年：大阪大学大学院工学研究科精密科学修士課程修了、シャープ株式会社に入社

2002～2008年：地球環境産業技術研究機構へ出向、バイオ水素生成技術の研究開発に従事

2008年：東京大学大学院農学生命科学研究科修了、博士(農学)。

その後、蓄エネルギー技術の研究開発を開始

2015年～現在：亜鉛空気電池の研究開発に従事、現職に至る